

検査セミナー

がん診療における循環器合併症

～より長期の生存のために～

【日時】

2020年12月5日（土） 兵庫県民会館 パルテホール

14:00～16:00

【会場】



同時オンライン配信あり

講演 1

生理学的検査で診る がん関連血栓症・心毒性

演者 佐藤 洋（関西電力病院 臨床検査部技師長）
座長 八杉 秀美（兵庫県立ひょうごこころの医療センター 検査技師長）

講演 2

がんセンターにおけるCAT（がん関連血栓症）の実態

演者 野中 顕子（兵庫県立がんセンター 循環器内科部長）
座長 村山 徹（兵庫県立がんセンター 検査部長）

講演 3

がんセンターにおける CTRCD（がん治療関連心機能障害）対策

演者 福田 優子（兵庫県立がんセンター 循環器内科医長）
座長 村山 徹（兵庫県立がんセンター 検査部長）

会場での講演

会場地図



神戸市中央区
下山手通4-16-13



マスク着用と手指消毒
をお願いします



オンライン配信



インターネット環境が
あればどこでも受講可能

登録方法等詳細は別紙

世話役

兵庫県立がんセンター検査技師長 幸福 淳子
(公社) 兵庫県臨床検査技師会会長 真田 浩一

主催

兵庫県がん診療連携協議会
(公社) 兵庫県臨床検査技師会

共催 兵庫県がん診療連携協議会・(公社) 兵庫県臨床検査技師会

「検査セミナー」

テーマ：“がん診療における循環器合併症” ～より長期の生存のために～

日時 令和2年12月5日(土) 14:00～16:00

場所 兵庫県民会館 パルテホール (神戸市中央区下山手通 4-16-13)

「がん」は日本人の死因第1位ですが、早期発見や外科治療・分子標的薬を含む化学療法の発展により、がん患者の生命予後が大きく改善し、「がんサバイバー (がん経験者)」が増加しています。また死因第2位である「心血管疾患」もまた生活習慣の欧米化と高齢化によって増加しています。このような状況を背景にして「がん」と「心血管疾患」を横断的に診ていく「腫瘍循環器学」が提唱されるようになり、現在注目されています。より厳密な心血管リスク管理を行うため、今回のセミナーを機に血圧脈波および超音波検査の見方・捉え方を学び、日常業務に生かして頂きたいと思います。

なお今回は、会場での講演と同時に、ZOOM を用いたオンライン配信を予定しています。

【プログラム】

13:30～ 受付開始

14:00～ 開会挨拶 富永 正寛

(兵庫県がん診療連携協議会議長、兵庫県立がんセンター院長)

14:10～ 座長：八杉 秀美 (兵庫県ひょうごこころの医療センター 検査技師長)

講演 1. 生理学的検査で診る がん関連血栓症・心毒性

演者：佐藤 洋 (関西電力病院 臨床検査部技師長)

14:45～ 座長：村山 徹 (兵庫県立がんセンター 検査部長)

講演 2. がんセンターにおけるCAT (がん関連血栓症) の実態

演者：野中 顕子 (兵庫県立がんセンター 循環器内科部長)

講演 3. がんセンターにおけるCTRCD (がん治療関連心機能障害) 対策

演者：福田 優子 (兵庫県立がんセンター 循環器内科医長)

16:55 ～ 閉会挨拶 真田 浩一 (公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 会長)

〈世話役〉

兵庫県立がんセンター 検査技師長 幸福 淳子

(公社) 兵庫県臨床検査技師会 会長 真田 浩一